



### 原爆ドーム世界遺産登録20年



第 95 号 2016・11・25



第5次協定調印式で両協会長が固い握手（10月28日）

## 広島ユネスコ協会と韓国UNESCO大邱協会 広島市で、第5次姉妹協会提携協定調印式

慰霊碑参拝、朝鮮通信使資料館、宮島  
などを見学し友好・親善を深める

2000年に姉妹提携した広島ユネスコ協会と韓国UNESCO大邱協会との、第5次姉妹協会提携協定調印式が、10月28日（金）、広島市内で厳粛な空気に包まれた中で行われました。（司会・井尾義信、通訳・渡邊優子さん）。調印式は式場正面の演壇席で、亀井章広島ユ協会長と南相杰（ナム・サンゴル）大邱協会長が、相互の協定書に確認署名し、文書を交換。固い握手を交わし、今後の国際理解、友好・親善、教育・文化、青少年事業などを協力推進して行くことを誓い合いました。協定書の有効期間は4年。（2面に協定書全文掲載）

この席上、亀井会長は第5次提携に当たり「両協会が手を携え、ユネスコ精神に沿って、さらに

日時 12月11日（日）午後2時  
会場 広島平和記念資料館東館メモリアルホール

本年12月は、原爆ドームが世界遺産登録されて、20年目に当たります。広島ユネスコ協会は、遺産化の意義である平和の精神と核廃絶の願いを込め、元広島市長の平岡敬さんを講師に記念講演会（記憶と継承〜原爆ドームをめぐる〜）を催します。平和の歌の合唱もあります。多数の参加をお願いします。

12月11日（日）

平岡 敬さん（元広島市長）が記念講演  
『記憶と継承』 原爆ドームをめぐる〜  
広島ジュニアコーラス、フエミニンコール広島は平和の歌合唱

原爆ドームの世界遺産登録20周年の集い



歓迎、夕食後の記念撮影（10月28日）



原爆死没者慰霊碑に参拝（10月29日）



韓国人原爆犠牲者慰霊碑に参拝（10月29日）

両国の友好を図っていききたい」と決意を語りました。また南大邱会長は「私たち大邱、広島が強い縄で長く長く繋がるよう期待します」と、熱い想いを述べられました。

今回の大邱協会の広島訪問は、10月28日（金）～31日（月）の3泊4日の行程で行われました。訪問団員は14名。初日は調印式・夕食会が行われ、歓迎・食事会（司会・松岡盛人副会長）では、藤井正一副会長が開会挨拶をした後、谷本広島市民局長が乾杯の音頭。アトラクションではテノール歌手の朴完瑯（パク・ワンキョン）さん（大邱広域市出身）

が日韓歌曲4曲を熱唱、玉井美佐子さんが日本舞踊を披露され会場を大きく盛り上げて下さいました。各テーブルでは和やかに歓談が続き、友好の輪が大きく広がり、思い出に残る楽しいひと時を過ごすことができました。



朝鮮通信使資料館を訪問（10月29日）

## 日本国広島ユネスコ協会・大韓民国UNESCO大邱協会 第五次姉妹協会提携に関する協定書

日本国広島ユネスコ協会と大韓民国UNESCO大邱協会は広島市と大邱広域市との友好関係を礎に永続的な発展を推進する。両協会はユネスコ精神の下に会員相互の友好と国際理解を一層深めて平和と連帯に貢献するため、2000年姉妹協会提携協定に締結し、次いで2012年第4次提携協定に調印した。この成果に基づき、さらに一層の発展を図るため、協定を継続する。

### 〈交流事業の内容〉

第1条 両協会は、次の分野において相互交流と協力に向けて努力する。

- (1) 国際理解に関する事項
- (2) 教育・文化及び芸術・学術に関する事項
- (3) 青少年に関する事項
- (4) そのほか、両協会が希望する事項

### 〈交流事業の実施〉

第2条 前条に定めた事業の実施に当たっては、両協会が協議し、実施する。

- 1項 訪問派遣は交互訪問とする。2016年は大韓民国UNESCO大邱協会、そして2017年は日本国広島ユネスコ協会が派遣し、以後相互に派遣する。
- 2項 派遣に関する渡航費、滞在費（食費、滞在費、交通費等）は派遣側が負担する。

### 〈有効期間等〉

第3条 本協定書の有効期間は4年とする。

なお、有効期間後の継続については、両協会の協議に基づき、合意の上決定する。

### 〈改定〉

第4条 締結期間中の改定などについては、両協会の協議に基づき、合意の上決定する。

### 〈使用語〉

第5条 この協定書は日本語と韓国語により作成し、両協会に各1部ずつ保有する。

2016年10月28日

日本国広島ユネスコ協会

大韓民国UNESCO大邱協会

会長 亀井 章

会長 南 相杰

原爆ドーム見学、縮景園散策、朝鮮通信使資料館、松濤園と蘭島閣美術館を見学、30日に宮島訪問。31日に新幹線で広島を立ち福岡空港を経由して帰国の途へ。



世界遺産・宮島を訪問（10月30日）

訪問団の皆さんは平和、日本文化、歴史遺産、ひろしまの街と人に触れながら理解と友好の旅を過ごされました。広ユ協、韓国・大邱協の皆さん、お疲れ様でした。

翌29日（土）、訪問団一行は、亀井会長らの案内で、広島平和記念資料館の展示資料見学、原爆死没者慰霊碑と韓国人原爆犠牲者慰霊碑への参拝、



## 8月15日「平和の鐘」の集い二〇一六

広ユ協主催の「平和の鐘」の集い2016が、今年も終戦記念日の8月15日(月)、平和記念公園の「平和の鐘」鐘楼前で行われました。この催しは2000年、ユネスコ(国際連合の教育・科学・文化機関)が提唱し、国連が決めた「平和の文化国際年」の活動の一環として、全国の多くのユ協が行っているもので、広ユ協は今年で17回目を迎えました。

(平和・世界遺産部会副部会長 畑口 實)

今日8月15日、終戦記念日を迎えました。正午を期して黙祷を捧げ、平和の鐘を撞きます。この行事は、国連が戦争の世紀であった20世紀から21世紀の平和の世紀を願って、2000年の「平和の文化国際年」を提唱し、日本ユネスコ協会連盟が始めたもので、国内各地のユネスコ協会が鐘を鳴らします。広島は第1回から参加し、今年17年目を迎えました。

「戦争や災害のない世界平和」、これは鐘を撞かれる時の皆さんの共通の願いと思いますが、さらに、その「世界平和」を、皆さんはどのようにイメージされるでしょうか。

人類史上初の原子爆弾を体験したヒロシマが、「世界平和」をアピールする時、「平和」の姿とは、「この地球上に核爆弾が存在しない、核兵器が使われない」状態ではないでしょうか。

終戦記念日には、70歳以上の世代は、71年前の、「耐えがたきを耐え、忍び難きを忍び…」の言葉とともにラジオによる天皇の玉音放送の終戦・敗戦宣言、また、戦時中の過酷な直接体験などを思

い起こします。そして、戦争による死者が日本人で300万人あったことなど戦争に関する慙愧と痛恨の念は今も消えることはありません。

原爆投下という最悪の被害者は広島であり、いくら被害の側面が強調されても過ぎることはない8月6日ですが、8月15日は、日本人として韓国をはじめアジアの国々に約2000万人の戦争犠牲者をもたらした加害責任のことを思い起こす日でもあります。その記憶を置き去りにしないことが、近隣諸国、世界の国の人々との友好促進を図るうえで大切であると思います。

本日、高校生の皆さんをお迎えしています。平和大使、高校ユネスコ活動班、平和のメッセンジャーの皆さんです。

65歳以上の高齢者が国民の4人に1人という時代を迎えて、ヒロシマを語り継ぐ人も高齢化しています。今後、この集いが、ヒロシマを継承し、発信していくバトンが、若い世代に引き継がれる場になっていくことを期待します。

### 亀井会長の「アピール」(要旨)

## 第19回 広島ユネスコ活動奨励賞決まる

### (学校部門)

#### ○広島市立中島小学校

ヒロシマの原爆体験を感性の原点とした平和教育

#### ○広島市立庚午中学校

平和を願う気持ちを伝えるアニメを制作

#### ○広島市立広島商業高等学校

広島市商ピースデパートによる平和貢献

### (社会部門)

#### ○赤道ギニアを支援する会

赤道ギニア共和国の子どもたちと婦人の支援

#### ○ネパール&日本 自然と平和の会

平和と自然の大切さを広げる活動

### ○宇品みなと太鼓

日本の伝統文化を維持、継承し、人の役に立とうとする心を育む

### ○ヒロシマを語り継ぐ教師の会

原爆被爆や戦争体験のお話をお聞きし、その事実、実相、感想を語り合い相互に検証し、それらを次世代に証言活動などを通じて継承していく

### ○広島市よい本をすすめる母の会

親子で本を楽しみ、本の楽しさを子どもたちに知ってもらう

(教育部会長 世木田寛子)

〈広ユ新春フェスタ〉 2017年1月28日(土)午後

2時から、広島市文化交流会館で開催。この席で、「活動奨励賞団体」の表彰やコンサートが行われる予定です。(文化部会長 井尾義信)

高校生国際理解セミナー

恒例の「高校生国際理解セミナー」を来る12月23日(祝・金)午前9:30から、広島市青少年センターで開催します。基調講演にはベトナムの留学生をお迎えし、また高校生による体験発表や意見交換を行います。午後からは、八丁堀に移動してコーアクション(世界寺子屋運動募金活動)を行います。皆さんふるってご参加下さい。

(青少年育成部会長 國田 繁)

ぺあせろべ

<笑顔が結ぶ「ひとの輪」>

国際交流フェスティバル「ぺあせろべ2016」が10月30日(日)に中央公園芝生広場で行われました。広ユ協は「子どもの遊び」コーナーで参加し、シャボン玉や竹細工など子どもから大人まで、笑顔いっぱい童心にかえって楽しんでいただきました。

広ユ協の参加で、広島から世界へ「ひとの輪」がつながる事を夢見ております。



(国際部会長 平井 勇)

国際交流・協力の日

11月20日(日)、広島国際会議場・平和大通りなどで「国際交流・協力の日」が開催されました。広島ユネスコ協会は市民団体活動紹介コーナーで主な年間行事・活動を写真や資料などで紹介しました。また、世界遺産をクイズで来場者に楽しんでもらいました。

(国際部会長 藤井孝行)

169回「ユネスコサロン」

9月17日(土)、NHK広島放送局アナウンサー出山知樹さんを講師に迎えて、広島市中央公民館大会議室で「ユネスコサロン」が開かれました。

出山さんは、1996年に初めて広島へ赴任して以来、現在は3度目の広島勤務で、その間、被爆者や平和を主題に番組制作、取材を続けて来られ、「サロン」では、50人の参加者を前に『ヒロシマが教えてくれたこと、そして出会った人々』をテーマに、終始熱っぽく取材経験などを語られました。



(文化部会長 井尾義信)

ESD学習

9月24日(土)、広島国際会議場研修室で、「ESDとユネスコスクール ―全13課程のQ&A―」をテーマに学習会を開きました。講師は和田文雄(当協会理事)県ユ連協広島ESD・ユネスコスクール研究会代表。Q&Aの冊子を教材に、ユネスコ憲章前文の精神に込められた平和、文化、非暴力などの教育の進め方などを学びました。



<会員募集>

ユネスコの精神に賛同し、協会の活動に参加したり、支援をしていただける方を募集しています。年会費3,000円。申込先:森木090-7132-2284又は、広島ユネスコ協会HP入会案内へ

日誌

<16年8月>

- 15日/「平和の鐘」の集い(平和・世界遺産部会)
- 19日/原爆ドーム世界遺産登録20周年記念事業打合わせ(事務局)

<9月>

- 2日/原爆ドーム世界遺産登録20周年記念事業打合わせ

- (事務局)
- 17日/高校生国際理解セミナー打ち合わせ会(教育・青少年育成部会)
- 17日/ユネスコサロン 講師・NHKアナウンサー出山知樹さん(文化部会)
- 24日/理事会(事務局)
- 24日/ESD研修会(教育部会)
- <10月>
- 12日/活動奨励賞候補推薦委

- 員会(推薦委員会・教育部会)
- 26日/活動奨励賞選考委員会(選考委員会・教育部会)
- 28日~31日/ユネスコ大邱協会歓迎・交流
- 30日/「ぺあせろべ」に参加(国際部会)
- <11月>
- 1・29日/活動奨励賞表彰式に向けてリーフレット作成

- 委員会(教育部会)
- 3日/「国際交流・協力の日」打ち合わせ(国際・広報部会)
- 14日/「国際交流・協力の日」展示品作成作業(国際・広報部会)
- 17日/理事会(事務局)
- 20日/「国際交流・協力の日」展示参加(国際部会)